

2024 第 1, 2, 3 RUTC 答えの永遠 (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr

2024 元旦祈り会

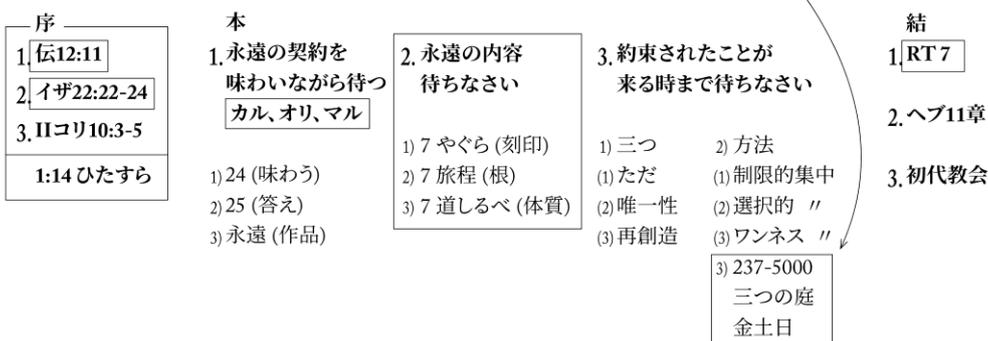
1 講 オリーブ山 (園) - 永遠のことを持たなければ - 待ちなさい (使 1:1-8)

講師 : 柳光洙牧師

日 場所 : 2023 年 12 月 31 日 / インマヌエル教会

23.12.31 2024 元旦-1

第1, 2, 3 RUTC 答えの永遠
「オリーブ山(園)」
- 永遠のことを持たなければ - 待ちなさい
6わざわざ+流浪の民 12戦略 IIコリ5:17



聖書 : 使徒の働き 1:1-8

01 テオフィロ様。私は前の書で、イエスが行い始め、また教え始められたすべてのことについて書き記しました。

02 それは、お選びになった使徒たちに聖霊によって命じた後、天に上げられた日までのことでした。

03 イエスは苦しみを受けた後、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。四十日にわたって彼らに現れ、神の国のことを語られた。

04 使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。

05 ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。」

06 そこで使徒たちは、一緒に集まったとき、イエスに尋ねた。「主よ。イスラエルのために国を再興して下さるのは、この時なのですか。」

07 イエスは彼らに言われた。「いつとか、どんな時とかいうことは、あなたがたの知るところではありません。それは、父がご自分の権威をもって決めておられることです。

08 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」

要約

何も心配せずにイエスが与えてくださったことを持って祈り始めなさい。目標を成し遂げる前にイエスが与えてくださったことを先に祈る必要がある。

第1、2、3RUTC 答えの永遠が今年の主題だ。永遠のことを知っている人は今日をすぐにキャッチする。永遠のことを知っている人は死も恐れない。

「オリーブ山(園)」

ここでイエスは40日間、神の国のことを説明された。国がいつ解放されるかは心配しないようにと言われた。もうすぐ、聖霊に満たされれば、力を受けて証人となると言われた。皆さんは、永遠のことを持てば良い。

6 わざわい+流浪の民 イスラエルは6回のわざわいを受け、もうすぐ7回目のわざわいが臨んで流浪の民として散らされる。

12 戦略 サタンの12戦略が私たちの脳に刻印されて、たましいに刻印されているので、なくなる。

Ⅱコリ5:17 キリストが来られて解決される再創造の働きでこそ可能だ。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」

□序論

1. 伝 12:11 神様のみことばは、よく打ち付けられた釘のようなもの

2. イザ 22:22-24 よく打ち込まれた釘の上にイスラエルにすべての栄光がかけられる。神様のみことばがよく打ち込まれた釘のように打ち込まれるとき、イスラエルのすべての栄光がかけられる。

3. Ⅱコリ 10:3-5 神様のみことばが私たちの中に入ってきて、すべての強力な要塞を打ち砕く。サタンのやぐらを崩してしまう。私たちの誤った考えを崩してしまう。これはとても重要な聖書箇所だ。

△伝道者の書はソロモンが書いた書だ。伝道者の書 11章まで、王だったソロモンは、すべてのことが空だと告白した。若い日に、もっと年を取る前に、創造者を覚えよと言った。そして、伝道者の言葉がよく打ち付けられた釘のように打ち込まなければならない。ここにイスラエルのすべての栄光がかけられると言われている。

イザヤが、イザヤ6章で天の御座の力を見て、レムナントでなければならないと言われた。イザヤ7章14節にインマヌエル、イザヤ40章に神様のみことばでなければならないと言われた。43章に海にも道が、砂漠に水が湧くと言われた。神様の力でだけできることだ。起きよ輝け。万民のために旗を揚げろと言われ、神様のみことばがよく打ち込まれた釘のようにあなたに打ち込まれれば、イスラエルのすべての栄光がかけられると言った。

使 1:14 ひとすら

この契約を持って集まって、ひとすら祈りに専念したのだ。聖書にある祈りを始めてみなさい。今年は絶対に逃さずに1年間、祈りを続けてしてみなさい。驚くことが起こるようになるだろう。

永遠のことを持たなければ-待ちなさい

いま重要なのが「待ちなさい」私たちがこれで誤りを犯す。約束されたことを待ちなさいということだ。ここから始めれば良い。

□本論

1. 永遠の契約を味わいながら待つ

永遠の契約を握って味わいながら待つことが最初だ。カルバリの丘で終わらせて、オリーブ山で答えを与えられ、マルコの屋上の部屋に行きなさいと言われた。これを握って待ちなさい。

1) 24(味わう) 24 味わいながら待ちなさい。もしかして、がんになった経験があったり、がんになっているなら、今日から、生きるべきだ、死ぬべきだと考えるのではなく、皆さんの病気、すべてのことは脳から始まるので、脳を生かす長い呼吸をしなさい。

2) 25(答え) すると、必ず 25 の答えが来る。そのとき、動けば良い。これが神の国のことが成し遂げられたということだ。

3) 永遠(作品) そして、必ず永遠ということが来て作品になるのだ。

2. 永遠の内容を待ちなさい

1) 7つのやぐら(刻印) 神様が与えられた7つのやぐらが刻印されるように待ちなさい。

2) 7つの旅程(根) 7つの旅程が根をおろすように祈りなさい。

3) 7つの道しるべ(体質) 7つの道しるべが完全に体質になるように祈りなさい。

△まことの答えを受けようとするなら、神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、加えて与えられる。

3. 約束されたことが来る時まで待ちなさい

1) 三つ イエスが直接語られたこと、三つが来る。

(1) ただが見える。このときから、レムナントは成功する。

(2) 唯一性 すると他の人が知って来る。唯一性。レムナントは自信を持って唯一性が出て来るほどしなさい。これが出て来なければ、しないように。

(3) 再創造 だれもできない。再創造。これが来るときまで、しなさい。

2) 方法 神様の方法で味わいながら、来るときまで待つのだ。

(1) 制限的集中 他のことをしてはならない。主が与えてくださったことだけに集中しなさい。

(2) 選択的集中 すると必ず答えが見える。これを指して選択的集中。

(3) ワンネス集中 後には、すべてが答えに変わる。それを指してワンネス集中。

3) 237 - 5000、三つの庭、金土日 いよいよ皆さんの前に 237、5000 種族が見えるぐらい答えが来る。皆さんの前に三つの庭が見える。何のためにイスラエルの国は祭りをたくさん守ったのか、金土日時代が見える。

△金土日時代があらゆる事を左右するだろう。エリートを奪って行く戦争、墮落する場所に奪って行くこと、学生たちを誘惑する時間がここからみな出て来るだろう。それゆえ、私たちは知って始める。レムナントを呼んで何を待つ必要があるのか、何の答えから受ければ良いのかを教える必要がある。

□結論

1. RT 7

2. ヘブ11章の人々

3. 初代教会の人々と同じ答えを受ける。

△重職者、レムナント、教役者は、キリストが与えられたことを待ちなさい。永遠のこと。永遠の内容を握って深く祈るほど良い。それから、神の国のことが成し遂げられるのだ。それから、教会、産業が神様の御手で捕えられるようになるだろう。

聞くだけでなく、今から持続しなさい。イエスが語られたことを待つのだ。ある日、皆さんの産業に世界の門が開かれて、三つの庭になって、異邦人が来る。根本的に与えられた契約、これを味わいながら待ちなさい。

全文打ち出し訳

私たちのメッセージを聞く家族の中に、ちょっとからだが病んでいる、そのような方もいるでしょう。何も心配せずに、イエス様が与えられたことを持って、今年は祈り始めるように願います。また、私は今、重要な目標を置いて祈っている、そのような方もいるでしょう。目標以前に、イエス様が与えられたことを先に祈ってください。それがとても重要です。

第1、2、3 RUTC 答えの永遠

それで、今年の主題が、この永遠です。永遠のことを知っている人は、今日をすぐにキャッチします。永遠のことを知っている人は、死も恐れませんが、どうせ、この世はしばらく生きて行く所なので、恐れなくていいでしょう。

オリーブ山(園)

そこで、イエス様に弟子が尋ねたのです。ここがどこかという、オリーブの園とも言います。ここにイエス様が呼び集められたのです。とても重要でしょう。イエス様が、このように言われました。40日間、神の国のことを説明されました。そこで、弟子たちが尋ねました。「すると、我が国は今、属国になっているけれど、このとき、解放されますか」このように尋ねたでしょう。「そのようなことは今、あなたがたの知るところではありません。心配しないように」そう言われました。「これからもう間もなく、聖霊に満たされれば力を受けて証人になる」では、ここで、いま、ものすごく重要なメッセージを与えられたのです。

-永遠のことを持たなければ

これを(永遠のこと)持つべきでしょう。これをするとき、皆さんが少し参考にすべき部分があります。

[6わざわい+流浪の民|12戦略|Ⅱコリ5:17]

今、イスラエルは6回のわざわいを受けました。そして今、イエス様のみことばが終わったあと、いくらかも過ぎずに7回目のわざわいが臨みます。流浪の民として散らされるでしょう。このときに与えられたのです。そして、私たち人間には、脳とたましいの中に刻印されたことは、絶対になくなりません。サタンの12戦略が私たちの脳に刻印されて、たましいの中に刻印されたので、なくなりません。それゆえ、キリストが来られて解決される再創造の働きによってだけ可能なのです。変えることができます。「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」そう言

われました。

口序論

今日、ここで皆さんが先に、入って行く前に、聖書箇所三つを先に覚える必要があります。

1. 伝 12:11

伝道者の書 12 章 11 節に見ると、このようなみことばがあります。「神様のみことばは、よく打ち付けられた釘のようなもの」そう言われました。では、私たちがとても衝撃を受けるとき、心に釘が打ち付けられた、そう言うでしょう。そうでしょう。それは間違っただけで打ち付けられた釘でしょう。皆さん、私がドアを開けて出て行くべきなのに、ドアの前に釘を打ち付けておけば、私が引っかかるでしょう。しかし、安全な所に釘をしっかりと打ち付けて、帽子もかけて、カバンもかけて、服もかけて、そうでしょう。

2. イザ 22:22-24

イザヤ 22 章 22 節 24 節に、何とみことばがなっているのかというと「よく打ち込まれた釘の上にイスラエルのすべての栄光がかかる」これが重要です。この神様のみことばが、よく打ち込まれた釘のように私にしっかりと打ち込まれるとき、イスラエルのすべての栄光がかかる。

3. II コリ 10:3-5

このとき、II コリント 10 章 3 節から 5 節に見れば、どうなっていますか。「いよいよ、神様のみことばが私たちの中に入って来て、すべての強力な要塞を打ち壊してしまった」サタンのやぐらを崩してしまう、こう言われています。私たちの誤った考え、崩してしまうのです。

これ(序論)は、とても重要な聖書箇所です。それゆえ、皆さんが神様のみことばを聞いて、釘が打ち込まれたように、よく打ち込まれた釘として打ち込まれてしまったということです。そこにすべての神様の栄光がみなかけられます。

伝道者の書は、だれが書いた書でしょうか。ソロモンが書いた書です。ソロモンがこのように言いました。伝道者の書 11 章まで「すべては空」王を過ぎた人が言いました。「すべてが空だ。私が自慢したこと、みな空だ。さらに私の信仰、このことも空だ。ただ空でないのは、一つしかない。主を知ることだ」残した話です。この言葉が「よく打ち込まれた釘のように伝道者の話が打ち込まれれば、生かされる。それも、あなたの若い日に、年を取る前に、あなたの創造者を覚えなさい」最後の 12 章を見れば、重要な話がたくさん出ます。「もっと年を取る前に」今。「後には家を守る者たちは震え」高齢だから足も震えて。「力のある男たちは身をかがめ」完全に曲がって、後ほどこのように(腰を曲げて)通います。そうなる前に覚えなさいということです。そして、何と言ったのでしょうか。「臼をひく音もかすかになり」力がないから回せないのです。「窓から眺めている女たちの目は暗くなる」その話は、目も暗くなるということです。また「歌を歌う娘たちはみな、うなだれる」今、よく歌わないと、後にはできなくて、年老いて。それゆえ、いまよくしなければなりません。「高いところを恐れ」高いところを上がるのが大変です。また、何と言っているのでしょうか「道でおびえる」完全に知っている人が通り過ぎるのに、驚いたと言うのです。また、なんでしょうか。「バツタは足取り重く歩き」力がないから。そして、何となっているのでしょうか。「風鳥木は花を開く」なんでしょうか。白髪になる、その話

です。「銀のひもは切れ」筋肉もズボズボと緩んで、そのように。「金の器は打ち砕かれ」もう骨も折れて、心臓も破れて、そのようになります。「水がめは泉の傍らで砕かれて」水を入れることもできないでしょう。「いま創造者を覚えなさい」それとともに言った言葉です。「伝道者の言葉は、よく打ち付けられた釘のようなもの」

このよく打ち付けられた釘は「イスラエルのすべての栄光がかかる」イザヤが言った話です。天の御座の力を見せて「レムナントでなければならぬ」と言われました。そうでしょう。イザヤ7章14節に「インマヌエルでなければならぬ」イザヤ40章に「神様のみことばでなければならぬ」43章に「あの海にも道ができるようになる」できたでしょう。「砂漠に水が湧く。神様の力によってだけできる」そうして、「起きよ。輝け。万民のために旗を揚げろ」それとともに言われた言葉です。「神様のみことばがよく打ち込まれた釘のように、あなたに打ち込まれれば、イスラエルのすべての栄光がかけられる」

[使 1:14 ひたすら]

今日の本文に、この(6わざわい+流浪の民、12 戦路、Ⅱコリ 5:17) 契約を持って1章14節に集まったのです。14節を見ると「ひたすら祈りに専念した」聖書にある祈りを一度始めてみるように願います。今年は絶対に逃さずに始めてみてください。皆さんが一年間、祈りを続けてしてみてください。本当に私たちの長老が、祈ったとおり、人の話を聞かずにひたすら祈りを一度してみてください。驚くことが起こるようになるでしょう。

-待ちなさい

では、ここで重要なことが何かということ。とても簡単な方法を説明しました。これが重要でしょう。何と言われたでしょうか。「待ちなさい」そう言われました。これが最初です。待ちなさい、そう言われました。私たちは、待つことを良くできません。そして、韓国の人一番にできないこと、待つこと。正しく何かみな逃します、すると。何もしてはならないということではありません。約束されたことを待ちなさい。これが最初です。約束されたことを待ちなさい。それゆえ、今回は、本当に皆さんが答えを受けるべきで、レムナントがこの答えを見つけたら、無条件に成功します。世界福音化します。無条件です。いろいろな何かの理論、くだらない話を聞かないでください。ソロモンがどれくらい知恵があったのでしょうか、ソロモンが話すのに「すべて空だ。すべて、生まれる時があり、死ぬ時がある。みな空しいことだ。ただ主だけが、まことだ。それゆえ、もっと年を取る前に創造者を覚えなさい」それとともに言った話ですから。「伝道者の話がよく打ち込まれた釘のように打ち込まれれば、あなたは生かされるようになる。イスラエルのすべての栄光がかけられる」

口本論

では、するとイエス様が待ちなさいと言われました。これが重要です。この祈りから始める必要があります。

1. 永遠の契約を味わいながら待つ

1つ目です。何を待つのでしょうか。永遠の契約を味わいながら待ちなさい。これ(永遠の契約)味わいながら待ちなさい。これが最初です。イエス様が待ちなさいと言われました。私たちの韓国人が一番うまくすること、出しゃばること。私たちの韓国人が一番できないこと、待つこと。それゆえ、頭は賢いです。カンニングも上手にして、頭の回転もはやく、臨機応変にはやく、小細工をよくして、韓国人は1位です。ユダヤ人がついて来ることができません、小細工には。ところで、これが最後まで続かなくて。これゆえ、ノーベル賞が一つも

出て来ないのです。出て来ないでしょう。待つことができなくて、そして、間違っただけを、しきりにしてしまふのです。待てば、神の国が臨むときを待てば良いのですが、待てないのです。何も心配する必要はありません。何をでしょうか。

[カル、オリ、マル]

終わらせたのではないのでしょうか。カルバリの丘で終わらせて、オリブ山で答えを与え、マルコの屋上の部屋に行きなさいと指示されたということです。これを握って待ちなさい。どのようにでしょうか。

1) 24(味わう)

24 味わいながら待ちなさい。今から 24 をしてみてください。もしかして、がんになった経験があったり、私はがんになっている、こういう方々は、今日から始めてください。してください。無条件にしてください。数か月かだけしてみてください。どのようにすれば良いのでしょうか、生きるべきだ、死ぬべきだ、このような考えをしないで。それ自体がストレスです。何、死ぬば「ハレルヤ、神様に行く」こうやって生きていけば「それでもどうするか、伝道すべきだ」そうすれば良いのです。そうでしょう。ここでなければ、あの天国に、これを考えて祈り。する時に、皆さんの病氣、すべては脳から始まるので、脳を生かす長い呼吸をしてください。してみてください。24 単に。時も問わずにしてみてください。してみてくださいということです。とにかく、そのまましてください、そのまま。どうなるのか一度体験してみてください。

2) 25(答え)

すると、24 味わっていけば、必ず 25 の答えが与えられます。このときに動けば良いのです。このことを指して何と言うのでしょうか。神の国のことが成し遂げられた。必ずすべきです。だいたい成功するためには今のようになっています、本当にしようとするなら、このように(本論 1)すれば良いのです。何か、私の産業がやっと食事ができて死ぬ、というなら今のようになっています。しかし、世界福音化しようというときは、このように(本論 1)すべきです。牧師たちは、「だいたい、単に生きれば良い」という時は、説教準備を土曜日にすれば良いです。しかし、本当にしようとするなら、一週間すべきです。祈りの中で。

3) 永遠(作品)

すると、必ず永遠ということは、来ます。これがもう作品になります。これを味わうのです。ある日、ヨセフに作品が出て来ました。だれが何と言うのでしょうか。ヨセフがいつ成功しようとしたか。そうではないでしょう。本当にこの(本論 1)祝福を味わえば良いのです。永遠の契約を私が持っていれば良いのですが、待ちなさい。味わいながら祈りなさい。これがイエス様の約束です。

2. 永遠の内容を待ちなさい

二つ目は何でしょうか。永遠の内容。これを待ちなさい。これを味わいながら。内容があるでしょう。それを待つのです。何でしょうか。

1) 7つのやぐら(刻印)

神様が与えてくださった7つのやぐらが刻印されるように待ちなさい。間違いありません。

2) 7つの旅程(根)

7つの旅程が根をおろすように祈りなさい。

3) 7つの道しるべ(体質)

7つの道しるべが完全に体質になるように祈りなさい。

私たちは詐欺師の話も聞くのに、そうでしょう。イエス様のお話を一度だけ聞いて、してみてください。私たち

は詐欺師の話も聞くでしょう。ある人は、お金を思い切り集めておいて詐欺師にみな取られて、献金もできなくて、それゆえ涙が出て、このように。それもするのに、イエス様が詐欺師でしょうか。万王の王で、主の主であり、創造者です。そうでしょう。私はこの(本論2)祈りだけ一日中します。他のことをすることが、イエス様が他のことをしてはならないと言われたでしょう。「あなたが本当に答えを受けようとするなら、神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、すべては加えて与えられます」

どうせ、今レムナントである私たちのウイソンは、今政治を始めていますが、遠くを見て本当のことを味わってください。そして今日1部のときに説教したように、確実な神様の旅程を見つけ出せば良いのです。そして、道しるべは何でしょうか。神様のみことば、見つけ出して。そして、私が神様と通じるやぐらがあれば良いのです。それ以前には、してはなりません。握って、まことのことが出て来る必要があります。あきらめもせず、続けて行くのです。この(本論2)祈りを続けて。

皆さんの肺は、ここに50歳以上になる方々は、小さくなっています。それは、すべての病気の原因になり始めます。医師の方々に尋ねてください。それゆえ、続けて、長く、大きくすれば良いのです。それとともに祈るのです。静かに平安の中に入るほど祈るのです。一日中ゆっくりと。どれくらい良いでしょうか。それが祈り、私が奥部屋に入って祈らなければならないのでしょうか。それは初心者です。そうでしょう。達人は、どこでもします。そうでしょう。ご飯を食べながらもして、人と対話しながらもして。どれくらい腹立たしくさせる人が多いでしょうか。祈りで。そうでなければ、狂ってしまいます。そうでしょう。本当に、もどかしくさせる人々が多いです。どうするのでしょうか。ほとんどの人は、そうでしょう。思うとおりに話して、出て来るまま、しゃべりまくって、そのように生きているでしょう。それを私が基準としてはならないでしょう。みことば。これを続けてください。

ほとんど、私のような場合は、定刻、もうそのようなことはありません。一日中します。そのまま。時間を決めることが大変で、そのまま一日中。目を覚ませば、続けて始めます。今もエステル牧師夫人が通訳するので、通訳するときに吸って、また息を吐き出す時に話して。すると、一週間、私は一日中講義しても大丈夫です。そして、この祈りはゆっくり呼吸すれば、この祈りは弱点がただ一つあります。何でしょうか。疲れないのです。ですから、はやく寝られませんが。疲れてこそ横になるのですが、横にならないので。一日中、そうしていると、夜になれば目が冴えて、「あ、はやく寝なければならぬけれど」それが弱点です。それ以外はないので、祈ってください。イエス様が話されたことでしょう。これを持って続けて皆さんが祈って、皆さんがまことの答えを受ければ良いのです。

3. 約束されたことが来る時まで待ちなさい

三つ目です。とても重要な三つが来る時まで。簡単に話せば、約束されたことが来る時まで、祈って待ちなさいということです。何が来るでしょうか、いよいよ。

1) 三つ

三つのことが来ます。イエス様が直接、言われました。

(1) ただ

ただが見えます。このときから、レムナントは成功するのです。ただが見えるということです。間違いありません。皆さんの産業に、ただが見えて。それで良いでしょう。勉強がびりでも大丈夫です。ただだけ見れば。いや、勉強が1番になっても、ただが見えないなら、毎日他の人について回るしかありません。そうでしょう。いや、ハーバードを出たのに、ただを見つけれなかったら、単に大学を卒業したに過ぎません。あのどこか

地方大学を出たが、ただを見つけたら、成功します。

(2) 唯一性

すると、他の人が分かって来ます。唯一性。宣伝することもなくて、唯一性。レムナントは、自信を持ってこの程度してください。これが出て来ないなら、しないでください。

(3) 再創造

だれもできません。再創造が見えます。これが来るときまで、しなさい。

2) 方法

神様の方法で、味わいながら来るときまで待つのです。主の方法は何でしょうか。

(1) 制限的集中

他のことをしてはならないのです。主が与えられたそれだけに集中しなさい、制限的集中。そうでしょう。いや、キリストが与えられたことをせずに、他のことをしきりにあれこれしては…。制限的集中。

(2) 選択的集中

すると、必ず答えが見えます。それを指して選択的集中。神様が与えてくださったことなので、私が選択した、そこに集中するのです。

(3) ワンネス集中

後には、すべてが答えに変わって。それを指してワンネス集中。絶対に逃してはなりません。約束を持って待ちなさいと言われました。皆さんが、どんな場合でも、揺れずに祈りなさい。

3) 237 - 5000

すると三つ目のことが来るときまで、必ず来ます。何が来るでしょうか。いよいよ皆さんの前に 237、5 千種族が見えるほど、答えが来ます。このようになってこそ、トップになるのです。

三つの庭

皆さんの前に三つの庭が見えます。すごいでしょ。

金土日

いよいよ何でしょうか。何のためにイスラエルの国は祭りをたくさん守ったのでしょうか。金土日時代が見えます。これから、これを逃してはなりません。金土日時代が、すべてのことを左右するでしょう。エリートを奪って行く戦争、ここでみな起こるでしょう。墮落する場所、奪って行くこと、ここでみな起こるでしょう。学生たちを惑わす時間がここでみな出て来るでしょう。それゆえ、私たちは知って今、始めるのです。

レムナントを呼んで何を待つべきなのか、何の答えから受ければ良いのかを教えてあげれば良いのです。

□結論

それゆえ、どんな結論が出て来るでしょうか。同じ答えです。

1. RT 7

2. ヘブ 11 章

3. 初代教会

レムナント7人、ヘブル11章の人々、初代教会の人々、同じ答えを受けました。

ヨセフが契約を握って味わいました。神様が私とともにおられる、それを味わっていたら、ある日、答えが来ました。ある日、王がヨセフを呼ぶことになりました。行って王が全く受けることができない答えを与えたのです。すぐに総理になりました。来ます。それゆえ、この答えを受ける必要があります。

ですから、私たちの重職者も、レムナント、教役者は言うまでもなく、とても重要でしょう。キリストが与えられたことを待ちなさい。それもあとでなくなるものではなく、永遠のこと。その中で鍵は、私はこの(本論2)祈りを深くするほど良いです。そして、メッセージをどのようにしようか、そのような心配をする必要なくて、そのときに合う答えを神様が与えてくだされば話せば良いでしょう。そうでしょう。

ですから、このレムナント7人の中で一人だけさらに例をあげるならば、皆さんがよく知っているダビデです。ダビデは他のことをしたではありません。これ(本論2)を味わっていたのです。「主は私の羊飼い。私は乏しいことはありません」それで、OK。戦場でも「主が私の盾であり、私は恐れませんが」王になってから「私は主が私の王である」ですから、自然にこの(本論3)答えがやって来たのです。「約束されたことが成し遂げられる時まで、味わいながら待ちなさい。エルサレムを離れないで、父の約束を待ちなさい。あなたがたは、もうすぐ聖霊でバプテスマを受けます。そうすれば、地の果てまで証人になります」

これ(237-5000、三つの庭、金土日)をよく見る必要があります。皆さんが受ける答えなので、よく見れば良いのです。これが皆さんが、これを(待ちなさい)をしていれば、答えが出て来るからです。何が成し遂げられると言われましたか。神の国のこと。イエス様が40日説明されたでしょう。それが成し遂げられれば終わりです。これから、私たちの教会はどうなるでしょう。神の国のことが成し遂げられるでしょう。そちらへ行けば良いのです。ここに入って来ている皆さんの産業はどうなるでしょう。神様の御手に捕えられるようになるのです。石はだれでも投げていました。ダビデ時代のとき、石を投げる人は多かったということです。ダビデだけ投げたわけではありません。記録を見れば、石を投げる大会もありました。ところで、ダビデの石がゴリヤテを打ったのです。正確に話せば、その石はダビデの手で捕えられたように見えますが、主の御手に捕えられたのです。それが重要です。これが神の国のこと。これが1講です。

いまは聞くだけでなく、今から持続してください。鍵はこれ(本論2)です。この(本論1)部分は、そのまま味わえば良いということで、鍵はこれ(本論2)だということです。イエス様が言われました。神の国の40日、これだけ味わっていれば来ます。これは(本論3)待つことです。ある日、皆さんの産業が突然、続けて世界の門が開かれます。皆さんの産業が、三つの庭になって、異邦人が来ます。それでは、与えれば良いでしょう。なぜでしょうか。ただ、唯一性、再創造の答えを持っているために。来るようになるのです。それゆえ、待ちなさいということです。味わいながら待ちなさい。根本的に与えられた永遠の契約、カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋、これを味わいながら待ちなさい。これが最初です。

これができないのに、どたばた何かをするのですか。それなら、しないほうが良いです。あせることはありません。「ああ、そうするうちに飢え死にしたらどうしますか」飢え死にすれば良いでしょう。そうでしょう。飢え死にしません。ある地域に行ったところ、アメリカに初めて集会に行ったのですが、牧師夫人が会社に勤めています。それは、難しいから。それでも、人はとてもすばらしい方々だと。それゆえ「牧師夫人、伝道するところが多いから、会社に勤めないで、本格的に伝道してください」「それでも、生活が…」「飢え死ぬのが神様のみこころなら、飢え死にしてください」私がそう言いました。飢え死にしませんでした。その方を通して、多くの働きが起こりました。その方のその教会がRU、私たちの学校として出たでしょう。牧師夫人は覚

えているかもしれません。初めて会ったときに、私がそのように話しましたから。心配しないでください。とても素晴らしい方々なので、「アメリカ福音化してください。待てば良いです」

だれも初代教会が世界福音化するとは考えませんでした。しました。皆さんがこの契約を持ってください。今から安らかに祈り始めてください。2講は、またちょっと違うことです。1講は、待つことです。今回の三講義で皆さんが本当に答えを受けること、始まる必要があります。私たちの三位一体の神様に栄光の拍手をささげましょう。

祈り

神様に感謝いたします。すべての栄光を神様が受けてください。神の国が成し遂げられるのを待つ力を与えてください。必ずやぐらを作る働きが起こりますように。旅程と道しるべを持つ生活になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン